

平成22年度(2010年度) 建設コストの計画と実績

[単位:百万円(消費税込み)]

道路名(区間名)	債務引受 限度額 (計画) (A)	債務引受額 (実績)			(D)-(A)	債務引受限度額と債務引受額の差額についてのコメント
		平成21年度まで (B)	平成22年度 (C)	計 (D)=(B)+(C)		
北海道横断自動車道黒松内釧路線 夕張IC～占冠IC新設事業	153,188	0	118	118	△ 153,069	本体工事施工のための既設夕張ICの切換えの部分引渡であり、本体工事はまだ施工中であるため。
日本海沿岸東北自動車道 中条IC～荒川胎内IC新設事業	25,217	15,563	734	16,298	△ 8,918	供用の開始に伴う工事等数量の確定等により、差額が生じたもの。
常磐自動車道 亘理IC～山元IC新設事業	17,587	11,569	113	11,682	△ 5,904	供用の開始に伴う工事等数量の確定等により、差額が生じたもの。
北関東自動車道 太田桐生IC～足利IC新設事業	54,298	0	38,287	38,287	△ 16,010	本線工事は完成し供用を開始しているが、開通後も立入防止柵の設置、剥落対策や移管に伴う財産整理等の残事業を引き続き実施する必要があること等による。
北関東自動車道 足利IC～岩舟JCT新設事業	73,910	900	55,344	56,245	△ 17,664	本線工事は完成し供用を開始しているが、開通後も立入防止柵の設置、剥落対策や移管に伴う財産整理等の残事業を引き続き実施する必要があること等による。
北関東自動車道 桜川筑西IC～笠間西IC新設事業	32,568	24,574	333	24,907	△ 7,660	供用の開始に伴う工事等数量の確定等により、差額が生じたもの。
東北縦貫自動車道弘前線 矢板IC(上り線)改築事業	2,292	0	1,182	1,182	△ 1,109	本線工事は完成し供用を開始しているが、標識設置工事等の残事業を引き続き実施する必要があることによる。
東北縦貫自動車道弘前線 白石IC～仙台南IC改築事業	2,486	0	1,360	1,360	△ 1,125	本線工事は完成し供用を開始しているが、拡幅部路肩の防草対策工事等の残事業を引き続き実施する必要があることによる。
関越自動車道新潟線 東松山IC～渋川伊香保IC(上り)改築事業	8,601	0	3,912	3,912	△ 4,688	本線工事は完成し供用を開始しているが、花園IC付加車線部の延伸工事等の残事業を引き続き実施する必要があることによる。
関越自動車道上越線 佐久JCT新設事業	8,944	0	4,573	4,573	△ 4,370	JCT新設は完成し供用を開始しているが、開通後も防草対策、剥落対策や財産整理等の残事業を引き続き実施する必要があることによる。
関越自動車道上越線 豊田飯山IC～信濃町IC改築事業	27,392	24,455	663	25,119	△ 2,272	供用の開始に伴う工事等数量の確定等により、差額が生じたもの。
常磐自動車道 つくばJCT(西側)新設事業	5,680	0	1,936	1,936	△ 3,743	供用の開始に伴う工事等数量の確定等により、差額が生じたもの。
東関東自動車道水戸線 三郷JCT一次改築事業	859	0	132	132	△ 726	供用の開始に伴う工事等数量の確定等により、差額が生じたもの。
一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道) つくばIC～つくばJCT新設事業	2,645	0	1,732	1,732	△ 912	本線工事は完成し供用を開始しているが、開通後も立入防止柵の設置等の残事業を引き続き実施する必要があることによる。
東日本高速道路会社が管理する高速道路に係る 高速道路利便増進事業に関する計画(スマートIC)	89,011	0	3,243	3,243	△ 85,767	H22年度は4箇所の工事の一部引渡しを行っており、他のスマートIC事業を引き続き実施すること等による。
一般国道47号(仙台北部道路) 利府JCT改築事業	977	0	802	802	△ 174	JCT改築は完成し供用を開始しているが開通後も完成図書を作成や雑工事等の残事業を引き続き実施する必要があることによる。
東北縦貫自動車道弘前線 大衡IC新設事業	905	0	773	773	△ 131	IC新設は完成し供用を開始しているが、開通後も財産整理や雑工事等の残事業を引き続き実施する必要があることによる。
北海道縦貫自動車道函館名寄線等 平成22年度修繕事業	55,618	-	50,385	50,385	△ 5,233	平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震の影響により、機構引渡し時期を次年度に見直したことによる。
北海道縦貫自動車道函館名寄線等 災害復旧事業	62,275	35,042	482	35,524	△ 26,750	災害復旧事業費については、安全性を考慮し、過去の実績を基に45年分の額を債務引渡限度額として設定している。平成22年度は、平成21年9月の異常降雨等に伴い発生したり面災害及び平成22年8月の台風4号に伴い発生したり面災害に関わる復旧工事の一部引渡しを行っている。

注1) 平成22年度(2010年度)に債務引受けを行ったものについて、継続中事業を含めすべて記載している。なお、()は、平成22年度に完了している事業である。

注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

注3) 修繕事業に関する債務引受限度額(計画)は、平成22年度までの債務引受限度額(計画)の累計から、平成21年度までの債務引受額(実績)を控除している額である。